



第86号

2023年12月  
認定特定非営利活動法人

麦の会

TEL&FAX

022-299-1279

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町17-1 郵便振替口座 02200-8-46178

E-mail : [muginokai@k5.dion.ne.jp](mailto:muginokai@k5.dion.ne.jp) <https://www.muginokai-koppe.com>

目次	コッペ&エフブンノイチ+について	飯嶋 茂	… 1p
	表彰・助成金報告		… 2p
	ぱれった・けやき宮城野です	渡辺 洋子	… 3p
	自己紹介	佐藤 里咲	… 4p
	しらかばフェスタ	氏家 大介	… 5p
	健康レクリエーション	阿部 央希	… 6p
	仙台市福祉プラザ・シルバーセンター改修への要望		… 7p
	みやぎユーザーズアクションII集会アピール		… 8p

来年の4月に新しい作業スペースをつくります。

名称は、コッペ&エフブンノイチ+(プラス)

飯嶋 茂

コッペの開設から35年が経過し、利用されている方たちの高齢化が目立ち始めました。皆が安心して地域で働き続けるためには地域の理解と協力が必要になります。障害のある人もない人も地域と共に活動する場所づくりとして、地域コミュニティーカフェを現在活動している同じ松岡町内に2024年4月に開設します。

福祉事業所を運営している者として地域に貢献することが役割であると認識して活動してきました。これまでも販売やイベント活動を通して地域との繋がりを持ってきましたが、地域に寄り添った関わりが不足していることを感じていました。下校後に子供達が遊ぶ場所がない、お年寄りが集まる場所がない、近所の人たちが井戸端会議をする場所もない。ましてや障害を持った人たちが気軽に行ける場所もない。その様子を事業所から眺め、いつかコミュニティーカフェを開設したいと望んでいました。もちろん、それだけではなく、地域の繋がりを早く持ち、高齢になった利用者が地域に暖かく受け入れられ、働ける環境が必要だったからです。多様な働き方とは、その人らしく生きることに関わります。自分の出来る事、やりたい事が実現できることにより、地域社会での生活を継続できるようになります。地域だけではなく、関心を持ってくれる

多くの人達と繋がりを持ち、地域福祉について考える場としたいです。

これまでも松岡町福の市、ワークショップ、健康レクリエーションを開催して参りましたが、新たにカフェと福祉事業所のアンテナショップ、障害者が働く事業所、駄菓子屋、子育て中の親が利用しやすいように子供が遊べるスペース、車椅子でも利用できるトイレを設けます。また、月に1、2回を目安に子ども食堂を開催します。子供に限らず誰でも来られる場所、悩みを相談できる場所、話し相手がいる場所として、「孤立しない、させない」ように地域がみんな支えあえる共生社会実現の一助になるように活動します。

近所のテナントを好条件で貸して頂けることになり、改修をテナントのオーナーにして頂くのですが、私達は資金的にあまり余裕がありません。行ってみたい場所、行ってみたい店、買ってみたい商品、食べてみたい料理、様々な要素により人が集まってくるのだろうと考えます。その為に、商品を陳列する棚、備品の購入、看板設置費や広報等の資金が必要です。私たちの思いや活動をより早く地域に周知し、地域コミュニティーカフェとして多くの人が交流する場を作りたいと思っています。

課題ももちろんあります。

1. 地域活動の意義を理解してもらい、多くの人に利用してもらえる場とすることができるか。
2. 地域に関心を持ってもらうためのイベント等の開催を定期的にするために、適切な講師やボランティアを募ることができるのか。
3. 今後様々な課題が表出したときに、解決の糸口や協力をしてくれる機関とのつながりを持つ必要がある。自分達だけでは解決に繋がらないときのためにスーパービジョンを担ってくれる人達と繋がれるかが不安。
4. 事業継続の為に売上を上げることができるか。  
具体的な内容の詰めもまだまだこれからです。  
今後とも皆さんのご協力をお願いします。

#### 表彰・助成金報告

11/27（月）社会貢献支援財団様より、社会貢献者表彰をいただきました。ワタリスさんからの推薦を受け、これまでの活動が認められたものです。長年のコッペのメンバーである後藤夫妻と一緒に、帝国ホテルで行われた表彰式に出席してきました。副賞として100万円の助成金もいただきました。ありがとうございました。

SOMPO福祉財団様より、車両購入助成として145万円の助成金をいただきました。軽ワゴン車の購入に使わせていただきました。ありがとうございました。

洲崎福祉財団様より、車両購入助成として300万円の助成金をいただきました。将来の送迎も視野にいれ、リフト車の購入に使わせていただきます。ありがとうございました。

「ぱれった・けやき宮城野」です。

社会福祉法人ゆうゆう舎 ぱれった・けやき宮城野 渡辺 洋子  
すっかり秋ですね。いつも楽しく拝見しています。

宮城県仙台市宮城野区にあります就労継続支援 B 型事業所「ぱれった・けやき宮城野」です。「お互いを認め合うことができ、安心できる場所でありつづける」を理念として、今日一日楽しかった！また明日も来ようと思って頂ける場所作りを目指して、平成19年に地域活動支援センターとして設立し、平成27年に今の就労継続支援 B 型に移行しました。

B 型に移行するまで工賃を意識して活動していなかったのですが、利用者の方も職員も働くことに戸惑いを感じながら右往左往しながらやってきました。ここ最近では、売り先も増え、売り上げも徐々にですが増えてきました。

現在では、菓子製造、手芸、内職、乾燥野菜、清掃作業と幅広く活動しています。菓子製造に最近力を入れており、オススメは卵白のクリームでクッキーをデコレーションしているアイシングクッキーです。オリジナルのアイシングクッキーはイベントなどで大変喜ばれています。また、今年4月からは、仙台市若林区荒町で来夢（こむ）というカフェでランチ営業もしています。こちらも徐々にランチのお客が増え来てホッと胸をなで下ろしています。

当事業所は、精神障害を持った方が多く通所しているのが特徴です。発病から辛い経験を経て、その後体調が安定し通うことができていますが、再発しないように病気とうまく付き合いながら、活動をしないといけません。疲れないように活動をして頂くためにどうするかを考え、利用者の方の変化を感じ取る事を意識しています。また、職員同士の連携も大事にしています。

ぱれったの利用者の方は毎日通う事が難しい方が多いのですが、生活リズムを整える意味でも、通いたくなる工夫を考えていますが、なかなかうまく行きませんね。それでも、利用者の方はとても優しく、時に友人のようで、時に親戚のおば様、おじ様方のような感じです。

そんな空間がとても心地よく、この場所を大切に守りたいと思う今日この頃です。

コッペの飯嶋さんとの出会いは・・・販売会でした。色々な施設のテントでお話しをしていて、私共のテントでも声がけをして下さいました。それがきっかけで、仙台市内で作るコラボ商品開発チームとしての「あがいん」にアイシングクッキーのこけしや乾燥りんごで参加させて頂いたり、他の事業所からのお話を繋げて頂いたり、感謝に堪えません。そう、足を向けて眠れません。っていう気持ちです。

これからも、末永くよろしくお願ひ致します！

また、色々な事業所と手をとり合いながら、これからも頑張っていきたいと思っています。

私はいずみ高等支援学校専攻科を  
修了して4月からコッペに入りました佐藤里咲です。  
私はお休みの日にはドラマが大好きで  
「テッパチ」のDVD BOXを鑑見たり、「テッパチ」  
ノートを書いたりして過ごしています。  
それからダンスが大好きで月に4回習っています。  
家でも即興ダンスを作っています。

私はコッペで元願張りしたい事が3つあります。

1つ目は報連相をきちんとする事

2つ目は上司さんと先輩方の話をきちんと聞く事

3つ目は口より手を重力かす事です。

いろんな仕事を覚え自分から仕事を探せる様に  
元願張りしたいです。

毎日コッペで働かっているととても楽しいです。

いろんな先輩方が優しく教えてくれるので嬉しいです。  
です。

よろしくお願ひいたします。

11月18日(土)

しらかほ「ワニ」さんへ具販売に  
てきました。クッキーとパンをならべて  
しらかほいま甘コッパロイ作ってパンと  
クッキーはしらかほがていあふと  
よあにきました。あい客様かたしあ  
きてくれました。パンがあつひあ  
まにうれました。

中山先生がきてくれました。

クッキーおかてくれました。あひるは  
まかコルはんをかいました。

バスにのってかいました。

比嘉大介



11/17 東北放送ラジオな気分のラジオカーレポートで  
大久保悠アナウンサーが取材に来てくれました。

# 健康レクリエーション

高部史希

菅野友紀さん・トレーナーとしてに  
トレーニングやって本当にいい筋トレで  
よかったです。とてもこのまま継続して  
やると運動力になります。僕は筋トレ  
が一番良かったと思います。  
いい健康レクリエーションが楽しかった  
優実さん旦那さんに伝えて下さる  
お原負のします。本当にありがとう  
最高でした。優実さん、友紀さん良かったです。

## 施設改修および施設整備についての要望

### みやぎアピール大行動実行委員会

仙台市シルバーセンターおよび仙台市福祉プラザの大規模改修工事の期間について、改修時期の変更をお願いします。

仙台市シルバーセンターおよび仙台市福祉プラザの改修工事について、シルバーセンターは2024年4月より、福祉プラザは2024年10月よりとなっています。

改修工事期間は2年と聞いています。

しかしこれではほぼ1年半の間、シルバーセンターと福祉プラザが使用できないこととなります。

両センターは、地域的にもバリアフリーの面でも利便性が高く、登録や催事の内容によっても減免措置があるなど、福祉団体が多く利用する施設です。日常的な会合にも多く利用されています。福祉プラザが予約できない時は、シルバーセンターを利用することもあります。

その両施設の改修工事期間があまりに重なりすぎており、利用している団体への影響は非常に大きいものがあります。

両者の改修期間中は、市民センターの利用など考えられますが、福祉団体にとっても市民センターの利用団体にとっても予約が取りづらい状況が続くことが予想されます。

改修の時期なのだと思いますが、できるだけ両者の改修工事期間が重ならないよう、できれば、シルバーセンターの改修が終わってから福祉プラザの改修を行うよう要望します。

12/8に仙台市と話しあいをもちました。改修の時期をずらすことは難しいとのことでしたが、代替施設の確保等に努めたいとのことでした。福祉プラザの障害者歯科についても歯科医師会と連携して代替施設の確保を検討中とのことでした。

そもそも改修の計画を作る際に利用する市民のことを考慮していないことが問題であり、市民協働をうたう仙台市の姿勢が問われることと思います。

飯嶋

4 病院再編の問題について 11/4 に行われた精神障害当事者主催の  
集会「みやぎユーザーズアクションⅡでのアピール文です。

## みやぎユーザーズアクションⅡ 集会アピール（案）

2023年8月31日、宮城県精神保健福祉審議会において、村井宮城県知事は名取市に民間の精神科病院を公募する考えを突然明らかにしました。その整合性すら欠く案に審議会の委員からは反対の声が相次ぎました。精神科病院協会、診療所協会等の79の団体・機関は宮城県立精神医療センターの富谷市への移転に反対する表明を出し、9月13日に再び開催された審議会において、新病院の公募を進めることに対し「時期尚早」との考えが議決されました。

県立精神医療センターの富谷市への移転は、現在県立精神医療センターを利用し、それに依って（よって）生活しているユーザーを蔑ろ（ないがしろ）にする問題です。また十分とは言えないが、これまで培われてきた地域包括ケアシステムの崩壊が起り、通院している患者やデイケア利用者については継続的な医療提供が失われることとなります。入院している患者は環境の変化による病状の不安定化など考えなければなりません。

2023年2月23日以降、村井知事は県立がんセンターと仙台赤十字病院を統合した新病院に精神科外来を設ける案、民間の精神科病院を公募する案、県立精神医療センターの分院の案と激しい批判が出たり、うまく立ち行かなくなるとその都度方針を転換して来ました。そして、未だに県は県立精神医療センターの移転計画について利用する患者らに何ら説明の機会すら持ちません。そこには我々精神医療ユーザーには全く目を向けず、ただ富谷移転を強引に進めようとする村井知事と県の態度があるだけです。

我々は障害者である前に、県民であり、市民であります。障害者権利条約には政策の意思決定過程において、障害者を代表する団体を通じて、障害者と緊密に協議し、障害者を積極的に関与させることが定められています。知事と県にはこのことを守る義務があります。また、障害者基本法においては、施策を講ずるに当たって、障害者その他の関係者の意見を尊重するよう努めなければならないと明記されています。県立精神医療センターを利用する当事者の声を聴かず、宮城県精神保健福祉審議会の意見を無視する現在の状況は決して許されません。

村井知事と県は県全体や県民のためと繰り返し発言しています。一体「県全体」とはどのようなことを指しているのでしょうか。我々が少数であるということを経験しているのならば、それは差別であり、人権の侵害であります。

我々の日常を奪い、そして我々の日常を支える医療やケアシステムを壊す、このような愚策は即座に停止すべきものであり、即時撤回すべきものなのです。心ある関係者の努力と地域住民の理解、我々自身が築いてきたコミュニティ、その長い歴史を経て形づくられてきた地域精神医療と福祉、そして我々の帰るべき住処（すみか）、それらをまったく台無しにする県立精神医療センターの富谷移転に我々は断固反対し、宮城県知事と県に計画の撤回を求めます。

私たちが抜きに私たちのことを決めるな！

Nothing about us without us!

参加者一同